

【件名】	路面補修工事（6一の6・遮熱性舗装）及び自転車通行空間整備工事（6一・3）	【事務所名】	第一建設事務所	
【工事場所】	東京都中央区銀座三丁目地内から同区銀座四丁目地内まで 外1箇所	【受注者名】	協立舗道株式会社東京支店	
【工期】	令和7年2月25日～令和7年10月24日	【主たる技術者名】	監理技術者 折原 裕樹	

【工事概要】

- 【1工区】L=207m
- ・切削オーバーレイ工（低騒音・t=10cm） 3,577㎡
 - ・全断面打換え工（t=70cm） 105㎡
 - ・遮熱性舗装工 2,969㎡
 - ・歩道舗装工（御影石） 102㎡
 - ・自転車ナビライン・マーク 99箇所 など
- 【2工区】L=207m
- ・遮熱性舗装工 1,736㎡

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は、特例都道外濠環状線（外堀通り）の有楽町駅及び東京駅付近で車両及び歩行者が多く、特段の配慮が必要であったが、現場代理人（監理技術者）は、経験豊富な補助技術者を追加するなど社内体制が整った現場施工であった。当該工事箇所は近隣施設が密集し、昼夜の交通量が多いことから、警視庁との協議により施工時間帯が指定されて作業時間が箇所ごとに5～8時間と制限される特殊な現場条件となっている。多くの作業制約がある中で常に現場状況を把握し、適切な交通規制や交通誘導を行っており、地元住民や商店街には随時丁寧な説明を行い、要望にも真摯に対応して大きな苦情もなく、無事故で工事を完成した。HTTゼロエミッションアドバンスやICT活用など、都が推進する品質確保の取組みに積極的に取り組んだ工事であった。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

当工事現場に接して、昼夜間大型商業施設が複数営業していたことと、大規模再開発事業に伴う企業者工事が、複数個所で実施されていたため、工事の作業工程や作業時間等の検討や、関係機関との調整に苦労した。

◇ 特に工夫した点

当工事現場は、通常から車両及び歩行者等が非常に多く、再開発事業関連の企業工事もあるため、交通管理者との事前調整で、複数作業帯の設置や作業時間に制限が設けられていたので、「作業区割・作業工程・重機選定・地先や他企業との調整など」に、特に工夫した。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

今回の現場状況に対する多くの懸案事項に対して、今までの現場経験や経験豊富な仲間と一緒に、迅速かつ的確に対応したことで、大きな苦情もなく、無事故で遅延することなく、工期内に工事完成することができた。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

担当する工事現場を安全かつ的確に行うためには、発注者が求める内容を把握した上で、近隣への周知理解や、関係機関との丁寧な事前調整が、特に重要である。工事完成後の現場が安全かつ快適に利用されている状況を見ると、この仕事をより一層楽しくやりがいを感じる事ができる。



数寄屋橋交差点の規制状況